

第7回「自然とふれあおう！ わんぱくKIDS」

IN 宇佐美

報 告 書

2006年8月23日

ご 挨拶

日頃より、私どもの活動にご理解ご協力ありがとうございます。本年も本事業が、無事に開催できましたこと御報告させていただきますと共に心より感謝申し上げます。

例年通り班別行動を基本とし、宇佐美学園を拠点に、野菜の収穫・干物づくり・磯浜遊びなどを行いました。本事業も7回を数え多くの方々の御尽力により年々進化してきております。

特に本年は、運営及びプログラムにおいて変更させていただきました。運営では、申込及び抽選結果連絡をインターネットにより実施させていただきました。まだ改善するべく技術的問題はありますが、これによるコスト削減分は直接参加者に還元することが出来ます。またプログラムでは、地域の方々にご協力頂き、裏山探検と竹工作を取り入れました。裏山探検は、江戸城石垣に使われた石を切り出した文化的にも価値のある石丁場を中心に自然観察も含め実施いたしました。ロープを使って斜面を登る等まさに探検気分では子供たちは大変喜んでいました。竹工作は、伝統的な生活技術である竹かご作りを指導いただき体験いたしました。大人よりもはるかに覚えがよい子供たちの頭の柔らかさに感心させられました。初めての試みでスタッフは大変でしたが、これらのキャンプ体験を通し自立心・共助心・創造力醸成の一助となれば幸いです。

このキャンプは、「自分のことは自分でやる。一人でできないことは協力してやる。できる人はできない人を助ける。」テーマである「自立と共生」という社会の基本を伝える場です。最近、親子間の殺人事件が相次ぐなど、子どもたちを取り巻く社会環境は悪化しているように思えます。これは、未熟な人の孤立からおきると考えます。まさに今、「自立と共生」が必要であり、「次世代を担う青少年の健全育成」は、学校教育や家庭教育だけでは担いきれず、地域の健全な教育力が不可欠と考えます。

今回のキャンプには、過去に児童として参加した中学生と高校生各1名がサブリーダーとして参加してくれました。このように輪が広がってくれたことは、非常に心強いことでスタッフ一同喜んでおります。

今後も地域教育力の一助となるべく理念「自立型共生社会の実現」に向け活動してまいりますので、ご理解、ご支援よろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人（NPO法人）
フレンドシップキャンプ
理事長 喜多 隆 正

事業概要及び結果

構成団体 主催 特定非営利活動法人 フレンドシップキャンプ
後援 社団法人東京青年会議所 第1地区特別委員会
特定非営利活動法人 東京中央ネット
後援 中央区教育委員会
協力 中央区立宇佐美学園、中央区、宇佐美学舎

主催団体理念 「自立型共生社会の実現」

事業名称 第7回「自然とふれあおう！ わんぱくKIDS」IN宇佐美

事業目的 「青少年の健全育成」
「ボランティアリーダーの育成」

事業概要 大学生リーダー2名、異学年児童9名の班を10班構成。
班別行動を基本とし、海山川の豊かな自然環境の中で各プログラムを
体験する組織キャンプ。

開催場所 中央区立宇佐美学園

開催日 平成18年8月5日から8月9日 4泊5日

参加児童 3・4・5・6年生 90名内病欠2名(応募児童193名)

宇佐美学園職員 約30名

ボランティア人員

大学生 22名(帝京、文教、明治、首都各大学、国立看護大学校)

高校生 1名

中学生 1名

地域の方 7名

NPO会員および青年会議所会員 27名

主なプログラムとポイント

全体を通して、「楽しむ、役割を持つ、協力する」。
ゲームなどを取り入れ参加意識を高める。

班旗づくり 自分の目標と班の目標を旗に描き発表、期間中の班旗とする。
キャンプでの個人の目標を確認する。
話し合っって班の目標を立てることで、仲間意識を高める。
班の一員となることにより自己意識の醸成を促がす。

野菜収穫・ひものつくり

野菜が土(自然)の恵であることの意識付け。
干物や切り身の魚も海川で泳いでいた魚であることの意識付け。
人の食べ物は、他の生き物の命をもらっているという意識付け。
家族をはじめ多くの人たちの労力があって食べ物があることの意識付け。
自然の恵を得て人も生きているという環境意識の高揚。

山・川・海での自然観察

都会で出来ない体験により自然への理解を深める。
自然は、人に恵を与えてくれる反面危険も多く、壊れやすいという気付き。

竹工作

生活や遊びの道具を作ることで創意工夫し物を作る楽しさの気付き。

カレーコンテスト

最後の夕食を班共同で作ることで、すべてのプログラムの集約とする。

スケジュール

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
7:00	集合・結団式 バス出発	起床・朝レク	起床・朝レク	起床・朝レク	起床・朝レク	
7:30		朝食 食堂	朝食 食堂	朝食 食堂	朝食 食堂	
7:45						
8:00	大仁農場到着 昼食 弁当 野菜収穫 大仁農場出発	磯遊びへ出発 宇佐美海岸	班別行動 プール 裏山散策 竹細工	ひもの作り	大掃除	
9:00						
10:00					学園出発	
11:00						
11:30			昼食 食堂	昼食 学園食堂	地球博物館着	
12:00			昼食 弁当	班別行動 プール 裏山散策 竹細工	班別行動	昼食 弁当 見学
13:00						
14:00						地球博物館発
14:30			学園到着		カレー作り開始	
15:00			風呂			
16:00	学園到着	自由時間				
	入所式				区役所到着	
17:00	風呂	史跡講演	風呂	夕食 食堂		
17:30	夕食 食堂	夕食 食堂	夕食 食堂			
18:00	風呂			風呂		
19:00	旗作りと発表	交流ゲーム	食材選び合戦	カレーコンテスト 発表会		
20:00		自由時間	自由時間	自由時間		
	自由時間					
21:00	消灯	消灯	消灯	消灯		
	ミーティング	ミーティング	ミーティング	ミーティング		

日誌

社団法人 東京青年会議所
第一地区特別委員会中央地区
地区委員長 勝又 祐一郎
実行委員長 橘 知範

第1日目（8月5日 土曜日） 天候：晴れ

定刻どおり午前7時45分に中央区役所前よりバス3台にて出発。

親子とも別れ少々神妙な面持ち。

大学生リーダーによるレクリエーション。ゲームや歌バスによっていろいろだけど次第に緊張もとれバスの中は笑い声がいっぱい。

高速渋滞がありながらも20分遅れで大仁農場に到着。まず弁当で腹ごしらえ。

農場自慢のジャージー牛の乳から造ったソフトクリームのデザート付。

おなかが膨らんだところで、野菜収穫体験にチャレンジ。

今年は長雨の影響もあり野菜が少なく、ジャガイモ掘りになった説明を聞く。

みんな真剣な眼差しで、畑の土と格闘。

仕分け作業後、カレー作りに使うため持ち帰り。

子供から学校で行ったサツマイモ掘りとの違いにも発言があり感心する。

午後3時を少々過ぎたところで宇佐美学園へ向けて出発。

学園下大通りに到着。大型バスはここまで。

大きなリュックを背負って坂道を登り午後4時前、予定通りに学園到着。

旗揚げの歌を歌いながら、わんぱくKIDSの旗を挙げて入所式。

「挨拶、返事をする」「時間を守る」2つを約束。

お風呂、夕食を経て、班毎の旗作りを実施。

10色の布からジャンケンで色を選んで、思い思いに絵や文字を書いていく。

どの旗も個性的に完成。旗に描いた自分の目標や班の目標を発表。

「友達をいっぱい作る」「仲良くする」など、まだ声の小さい子もいたけど皆がんばりました。

明日の海に持っていくぞ。

自由時間の後、歯磨き着替え、リーダーの読み聞かせタイムで21時消灯。

興奮気味でなかなか寝付けず。特に女の子は寝つきが悪い。

一人ホームシックで涙涙。泣きつかれてやっとダウン熟睡。

第2日目（8月6日 日曜日） 天候：晴れ

起床前から元気いっぱい我慢限界でグラウンドに集合。
旗揚げの歌を歌いながら「わんぱくKIDSの旗」掲揚。
朝レクリエーション終えてさあ朝食だ。

今日は1日磯浜遊び。学園を出発し徒歩15分、宇佐美海岸午前9時到着。
絶好の海日和。

班毎に別れ、大学生のリーダーに従いながら、日焼け止めクリームを塗り、体操を行い準備万端。それではいざ、海へ一直線。

海で波と戯れる班もあれば、磯で海の生物を捕まえる班もあり、それぞれ思い思いに楽しんでいる。

今年は大きな水槽を2つ用意して、捕まえたカニや貝を観察。

なまこまでも水槽に入り、カニとなまこで喧嘩がおこった。

元気に遊ぶ子供たちに擦り傷はつきもの。テントで待機しているスタッフ参加の小児科医、小坂先生も大忙し。

中には気のせいの子供も。先生になんでも無いよと言われ走っていく。笑
安全確保は大人の仕事。1班に1名スタッフ補充。

統一の真っ赤な水泳帽は強い見方。30分に一度、班毎に点呼し、本部に報告。

昼食のお弁当もあっという間、休憩後もう一遊び。

波が高くなり日差しも強いので30分繰り上げ集合。

園長先生との約束、観察した生き物はみんな逃がしてあげました。

大きな怪我も無く磯遊び無事終了。

最後にアイスキャンディをほおばったところで学園へ向け出発。

プールのシャワーで砂を落としてお風呂へ。大騒ぎにスタッフはくたくた。

女の子一人調子が悪いと小坂先生のところへ。少し脱水症状で水分を取るようと言われるも嫌がったのまず。理事長が来て「先生、注射してください。」と言ったとたんポカリスエット一気飲み、すぐに回復。

地元の森さんに明日の裏山探検の地図と刻印石の資料をもらってお話いただく。
真剣に話を聞き、質問もいっぱい。期待以上の反応。

夕食後、体育館で全体交流ゲーム。もうすっかりみんな仲良し。

みんな今日はお疲れの様子。消灯したら直に寝息が聞こえたよ。

第3日目（8月7日 月曜日） 天候：晴れ

虫取り希望者は、午前5時30分に中庭に集合。
結果は残念カブトムシのメス2匹。やっぱり長雨のせいかな。
だけど早起きは気持ち良い。いや、ちょっとつらい。

今日は一日班別行動。プール、裏山探検、竹工作を交代で体験。

強い日差しでプールは最高に気持ちいい。大きな声が響き渡る。

裏山探検は、昨日教えてもらった刻印石を実際に見ることが出来、興味津々。
ロープで斜面を登ったりと探検気分が盛り上がる。
80分くらいのコースだけど脱落者ゼロ。
都会ではできない体験に目を輝かせて帰ってきました。
皇居の石垣で同じ刻印を探せたら感動だね。

竹工作。高学年は竹かご、中学年は竹とんぼの予定でしたが、竹とんぼが生竹だったため重くうまくいかず全員竹かごに変更。
竹かごづくりはちょっと難しかったけど、大人よりも早く理解。
上手に出来た。子供の吸収力はすごい。かごはお土産。
宇佐美地区は、竹林が多く以前は干物を入れたりするかごとして竹細工が盛んでしたが、現在作れるのは今回教えていただいた竹本さん1名だそうです。

17時終了、リーダーはバテ気味だけど子供はまだまだ元気いっぱい。

夕食後、体育館でカレー食材獲得合戦。
明日のカレーはどんなカレーを作ろうかな。
そのためにどんな食材カードを獲得しようかな。
作戦立てて、他の班のお友達と交渉、食材カードを交換。
食材カードの交換に走り回り明日がますます楽しみに。

プールに山登り、頭も使ってみみんなお疲れ。
部屋に戻って布団に入ったら夢の中。

第4日目（8月8日 火曜日） 天候：台風

ジャンケンで勝った子供代表7名、干物用の魚を取りに網代漁港へ。

今日は朝から雨。朝礼をプレイルームで行なう。

代表7名の網代漁港へ行った感想発表。

たくさんの方が働いていることに感謝する旨の発表あり。

恒例の干物作り。

今回は、アジとカマス、不漁で同じものがそろわず。これも自然。

毎度おなじみの熱海の魚屋タケさんに包丁の使い方や魚のさばき方を教えてもらって、さあ挑戦。

数時間前まで元気に泳いでいた新鮮な魚を相手に、こわごわとワタを取る子や包丁を不器用に扱う子など様々だけど、みんな目は真剣。

お家に帰ったらお母さんに教えてあげてね。作った干物はお土産だ。

天気が悪く天日干しが出来ないので、冷房強めの部屋で扇風機を回し乾燥。

量産用乾燥と同じ原理。味はちょっと落ちるかな。

ソーダカツオもあったので希望者に3枚卸にしてもらいました。強めの塩漬け。

これもお土産、塩っ辛いのでお茶漬けに。

午後は班別行動だけど、天気が悪いので体育館とプレイルームの2グループ。

体育館では、ドッジボール大会で大盛り上がり。

プレイルームでは、おとなしく読書や輪になってゲーム。

14時半、楽しみにしているカレー作りだ。

昨日獲得した食材がカードから本物の食材に変わり、ボールの中に入っている。

さて、ここからが腕の見せ所。

野菜を切って肉をいためて、ぐつぐつ煮込んで、隠し味を加えてまた煮込んで。

高学年のお兄さんお姉さんが下級生の面倒をしっかりと見て班は一致団結。

オリジナルカレーの出来上がり。

カレーコンテストの結果は気がかりだけど、自分たちの作ったカレーが最高！

第5日目（8月9日 水曜日） 天候：大雨のち曇り時々雨

事業最終日。皆起きるのが早かったので、部屋・施設の掃除を、時間を繰り上げて始める。

昨日の台風は去ったようだが、まだ朝のうちは雨が残っていたので朝礼はプレイルーム。布団の片付け方等を話し、忘れ物をしないように徹底。

朝食後に子供達は、最後の部屋の片づけと、荷物の準備を。
大きいリュックは車でバスへ。今回は大雨だったので特別。
スタッフ及び学生は食堂の机や椅子を寮3階に片付け、及び施設の掃除を行う。

10時、施設を出発する。幸い雨は止んだのでバスの場所まで徒歩で行く。
バス3台での移動は、問題なし。

一夜城公園で昼食予定だったが、残り雨の影響を考え「県立生命の星 小田原地球博物館」で見学+昼食に変更。

この博物館が大変良かった。
子供達にも大人気で見学時間が少し延びることに。

博物館を出た後は、SAで1回休憩を取るも東京へ直行。
中央区役所に予定通りの16時30分ジャストに到着。

中央区役所では、出迎えに来たお父さんお母さん達が大勢。

最後までしっかり整列をし、挨拶をして終了する。
この5日間で一回り大きく、日焼けした子供達を見て、お父さんお母さんが暖かく笑顔で迎えていたのが印象的だった。

学生リーダーありがとうございました。皆さんお疲れ様でした。

協 賛

晴海ライオンズクラブ	(株)ネオ・コミュニケーションズ
伊豆山漁業(株)	(株)墨田屋商店
(有)佐藤弘造製作所	(有)伊勢常
(株)フジカ	(株)マウンテン・ワン
(有)セラ・コーポレーション	マーナマリー(有)
(株)丸建興業	(株)マル源
(株)アドバンスクリヤマ	ライオンファイル(株)
マキコーポレーション(株)	タチバナエステート(株)
協立工業(株)	(株)東京ニュース通信社
テイト商事(株)	(株)プラン・ドゥ・モトハシ
(株)サヨカ	昭和工機(株)
(株)芙蓉商会	泰幸商事(株)
(株)アイシーランド	(株)日広社
設樂雄一郎法律事務所	(株)日本ワークサービス
(株)和田久	谷中和也税理士事務所